

施策評価管理シート

2019(令和元)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	環境負荷の少ない社会の創造		
	施策	2	循環型社会		
				地域環境部	田中 明子

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題

Plan

- ごみの排出量は、ごみ処理の有料化等により大幅な減量を果たしましたが、有料化以降については排出量は横ばい状況となっており、さらなる減量を目指す必要があります。
- クリーンセンター施設については、周辺環境への配慮と安定操業に努めながら維持管理経費の抑制を図る必要があります。
- 浄化センターについては、施設の老朽化による機能低下に対し引き続き維持補修を行うとともに、施設の維持管理に努め、周辺環境への影響を抑制する必要があります。

2. 施策の基本方針

Plan

- 資源循環型社会を構築するため、市民、事業者、行政が一体となって、ごみの減量化や資源化を積極的に進めることにより、ごみゼロ社会を目指すとともに、環境に配慮した安全かつ適正な廃棄物の処理を推進します。

○施策指標(目標)及び達成状況

Plan **D**o

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
ごみの減量・分別・資源化を実施している市民の割合 (%)	目標	-	-	-	95.0	
	成果	93.6	94.4	96.2	95.4	100.0%
一人一日あたりのごみ排出量 (g)	目標	-	-	-	728.2	
	成果	731.1	726.7	734.0	732.4	0.0%

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度～30年度)

Plan **D**o

- ・ごみの分別・資源化の啓発を継続的に実施しました。
- ・ごみの適正排出促進のため、市広報掲載のごみカレンダーの印刷、配布およびごみ分別ガイドブックの作成、配布しました。
- ・メダルプロジェクトに参加して、携帯電話のリユース促進(平成30年度終了)を行いました。
- ・認定事業者との連携協定を締結し、パソコンを含む使用済小型家電回収のネット回収サービスを実施し、リユース促進を行いました。
- ・使用済インクカートリッジを市役所で拠点回収によるリユース実施を行いました。
- ・市職員から不要の子供服を集め、かがやき等で来館者へ無料配布することによるリユース実施を行いました。
- ・食品ロス削減に向け、飲食店での「完食!二十面相相出没店」募集を実施しました。(H30:8店舗登録)
- ・小学校等に出向いての環境学習を実施しました。
- ・不法投棄等監視パトロールや不法投棄や不適正排出防止を実施しました。(不法投棄家電回収台数H28:32台, H29:8台, H30:41台)
- ・チップカーや剪定用小型破碎機の利用促進PRを実施しました。(小型破碎機貸出実績H28:68台, H29:58台, H30:43台)
- ・地域と連携しながら、不適正排出防止への取組を実施しました。
- ・「名張クリーン大作戦」等の環境美化行動を実施しました。

4. 成果を踏まえた課題や現状

Check

- ・市広報のごみカレンダーの印刷部数が減少しない現状にあります。
- ・ごみ分別ガイドブックは窓口配布のため、細かく行き渡らない課題があります。
- ・拠点回収について広報等で情報発信し、リユース促進を図る必要があります。
- ・「完食!二十面相」登録店舗数を拡大するなど、事業系食品ロス減少を図る必要があります。
- ・不適正排出については、環境レンジャーの活用とともに、地域とアイデアを出し合って解決を図っていく必要があります。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)

Action

- ・ごみカレンダーや分別ガイドブックの内容を盛り込んだごみ分別アプリを導入、拡大を図り、紙媒体入手の手間の省略により適正排出促進を図ります。
- ・拠点回収について広報等で情報発信し、リユース促進を図ります。
- ・「完食!二十面相」登録店舗数を拡大し、事業系食品ロス減少を図ります。
- ・不適正排出については、環境レンジャーの活用とともに、地域とアイデアを出し合って解決を図っていきます。

6. 行政評価委員会による総合評価

Check

ごみの減量化に向け、市民一人ひとりが取り組みやすい具体的な事例の紹介など啓発を進めること。